2016 年 9 月 27 日

チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ株式会社

チェック・ポイント、クラウド IT 新時代における
セキュリティ・ベンダーのリーダーシップの定義を明確化

幅広い多様な技術ポートフォリオにより、パブリッククラウド、プライベートクラウドおよび
ハイブリッドクラウド環境に対し、迅速かつダイナミックな脅威対策を実現

ゲートウェイからエンドポイントまでの包括的セキュリティを提供する Check Point® Software Technologies Ltd.（NASDAQ: CHKP、インターナショナル本社：イスラエル、会長兼 CEO：ギル・シュエッド）は、クラウド・コンピューティングの新時代に必要な企業の変化を支援するため、パブリック、プライベート、ハイブリッドの各クラウド環境を網羅する包括的な脅威対策と管理機能を軸としたクラウド・セキュリティの新たなビジョンを発表しました。IT 環境のオペレーションが、ハードウェア中心からアプリケーション中心へと急激に移行するなか、サイバー・セキュリティへの戦略的な取り組みは重要性を増しています。

チェック・ポイントの高度な脅威対策は、VMware NSX、Cisco ACI、OpenStack、Microsoft Azure、および Amazon Web Services（AWS）など人気の高い SDN／クラウド技術と統合して導入でき、あらゆるクラウド・プラットフォームに有効です。クラウド環境向けソリューションである vSEC に R80 Management を組み合わせることで、業界の主要なソリューションとポリシーの一貫性を保ちながらセキュリティを強化し、企業の物理的ネットワークやクラウド環境をすべて単一の管理コンソールで確実に保護します。

ヘルヴェティア・グループ（Helvetia Group） のコーポレート・ネットワーク＆統合通信エンジニアリング部門長のアンドレアス・ヘーゲン（Andreas Hagin）氏は次のように述べています。「チェック・ポイントを導入することで、自動化とサーバ設置の迅速化を実現しながら、同時にセキュリティを強化できました。チェック・ポイントの vSEC ソリューションは、高度な脅威対策を損なうことなく、ソフトウェア定義の戦略と自動化に向けたニーズを満たし、お客様の信頼と満足を維持するのに役立っています。さらに、チェック・ポイントの統合管理プラットフォームを使用することで、ソリューションごと管理が不要になるなど仮想データセンターでの運用コストを削減できました」

組織全体にわたるクラウド利用は、従来の IT 統制外へのデータ移行がセキュリティ上の懸念を伴うため、多くの企業で停滞しています。企業が自社データを機密扱いで管理しながら、規制を遵守しなくてはならない状況をふまえ、チェック・ポイントはより安全なクラウド活用のために以下のビジョンを掲げています。

- **サイバー脅威に対する高度な保護**：従来よりオンプレミス型ソリューションでは、アプリケーション・レベルのセキュリティと、高度なマルウェアからの保護機能を提供していますが、クラウド・セキュリティ向けのツールは十分でありませんでした。また多くの場合、セキュリティ面での不安により企業の IT セキュリティ下で積極的にクラウド・サービスを利用することがありませんでした。このためチェック・ポ

©2016 Check Point Software Technologies Ltd. All rights reserved

イントは、オンプレミス資産と同様にクラウド資産をセキュリティ上のエクスプロイトや脅威から保護するための、高度な脅威対策を提供します。

- **あらゆるトラフィックと脅威の可視化**：従来の企業統制の域を超えるデータはますます増加しています。チェック・ポイントは、クラウド上のデータに悪用されたり影響を与えたりする恐れのある脅威やその他の悪意のある活動を含め、クラウド環境で実行中のワークロードの可視化を実現します。これにより、セキュリティ・チームが攻撃対象領域の範囲について正確な情報を入手し、十分なリスク軽減能力を確保できるようになります。
- **セキュリティ管理と実施**：企業は、セキュリティ統制の権限を仮想ネットワークおよびクラウド・プロバイダと共有しているため、アプリケーションのワークロードやデータの増加に対応しながら一貫したセキュリティ態勢を維持するのは困難です。チェック・ポイントは各クラウド・プロバイダが使用するツールや技術上の違いを簡素化し、難解なセキュリティ・ポリシーの策定と実施に透明性と一貫性を持たせます。
- **ロギングとレポーティング**：企業がデータやワークロードを IT 統制下にある機器からクラウド環境に移行する場合など、異なる複数ソリューションを切り替えて使用するなかで、ネットワークのトラフィックや脅威活動の全体像は把握しづらくなります。チェック・ポイントは、企業に明確な管理と包括的なレポートを実現するツールを提供し、企業の高度な監査や規制遵守レポートを支援します。

アプリケーションやデータは、どこに格納されていても攻撃の標的となるため、クラウド環境における保護は、物理環境と同等の取り組みが必要です。従来の静的なセキュリティ統制は、動的で拡張性があるクラウド環境では有効に機能せず、組織およびデータを新たなリスクにさらします。

チェック・ポイントのクラウド・セキュリティ製品管理ディレクターのエレズ・バークナー（Erez Berkner）は次のように述べています。「サイバー攻撃は、オンプレミスとオフプレミスのいずれかを問わず、ネットワーク基盤上どこででも起こり得ます。R80 Management と統合した vSEC クラウド・セキュリティは、あらゆるクラウド環境で、企業の成長に合わせて拡張可能な強力な脅威対策を提供します。企業は自社のニーズに適合させた動的で高度なセキュリティを確保し、データセンター・アプリケーションやワークロードをプライベート、パブリック、ハイブリッドのいずれのクラウド環境でも安心して運用できるようになります。

■チェック・ポイントについて　　WE SECURE THE FUTURE.

チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ（ www.checkpoint.com ）は、あらゆる規模の組織に対応する世界トップクラスのセキュリティ・リーディング・カンパニーです。業界随一の検出率を誇る先進のセキュリティ対策により、お客様のネットワークをマルウェアなどの多岐にわたるサイバー攻撃から保護します。大規模ネットワークからモバイル・デバイスまでを保護する包括的なセキュリティ・アーキテクチャに加え、直感的で使いやすい総合的なセキュリティ管理ソリューションを提供しています。世界の 10 万以上の組織・企業がチェック・ポイントのセキュリティ製品を利用しています。

©2016 Check Point Software Technologies Ltd. All rights reserved

チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズの全額出資日本法人、チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ株式会社（ http://www.checkpoint.co.jp/ ）は、1997 年 10 月 1 日設立、東京都新宿区に拠点を置いています。

©2016 Check Point Software Technologies Ltd. All rights reserved

####

《本件に関するお問い合わせ先》

チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ株式会社

担当　マーケティング　石黒・溝口

Tel: 03-5367-2500 / Fax: 03-5367-2501
Email: info_jp@checkpoint.com

広報代行　共同ピーアール株式会社

担当　中村・小林・上瀧

Tel: 03- 3571－5238 / Fax: 03- 3571-5380

Email: checkpoint-pr@kyodo-pr.co.jp